

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11286

文化団体活動支援事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		文化スポーツ費	
	目		文化振興費	
	大事業		文化振興事業	
	中事業		文化団体活動支援事業	

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 文化振興課 宮脇 進 435-1194
事業実施の根拠法令	和歌山市文化振興補助金交付要綱		関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	本市の文化振興及び市民の情操教育に寄与する。		各種文化団体が行う事業に対し補助金を交付することにより活動を支援する。(9事業)		
事業内容	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
	各団体が行う事業に対し補助金を交付(6事業) (新型コロナウイルス感染症の影響等により一部事業中止)	各団体が行う事業に対し補助金を交付(8事業) (新型コロナウイルス感染症の影響等により一部事業中止)	各団体が行う事業に対し補助金を交付(8事業) (新型コロナウイルス感染症の影響等により一部事業中止)	各団体が行う事業に対し補助金を交付する。 (9事業)	各団体が行う事業に対し補助金を交付する。 (9事業)

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,341	631	1,306	571	1,306	1,007	1,136	0	1,136	0
伸び率(%)	△1.1%	△49.8%	△2.6%	△9.5%	0%	76.4%	△13%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	2,071	2,071	2,017	2,095	3,366	3,067	3,142	0	3,142
	正規職員以外	131	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	2,202	2,071	2,017	2,095	3,366	3,067	3,142	0	3,142
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	1,341	631	1,306	571	1,306	1,007	1,136	0	1,136	0
所要人数(人)	正規職員	0.26	0.26	0.26	0.27	0.45	0.41	0.42	0.00	0.42
	正規職員以外	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	負担金、補助及び交付金 1,136千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
支援団体数	団体	目標値		11	10	10	9	9
		実績値		6	8	8		
		達成度(%)		54.5%	80%	80%	%	%
会員数	人	目標値		1,800	1,600	1,600	1,400	
		実績値		1,515	1,471	1,232		
		達成度(%)		84.2%	91.9%	77.0%	%	%
事業実施回数	回	目標値		47	46	46	40	40
		実績値		12	6	38		
		達成度(%)		25.5%	13%	82.6%	%	%
		目標値						
成果指標		実績値						
		達成度(%)						

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	各種文化団体が実施する事業は、文化振興及び情操教育に寄与するため。 令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業を中止した。
見直し・改善内容	適切に文化芸術の発表や市民に広く鑑賞の場を提供できるよう図る。